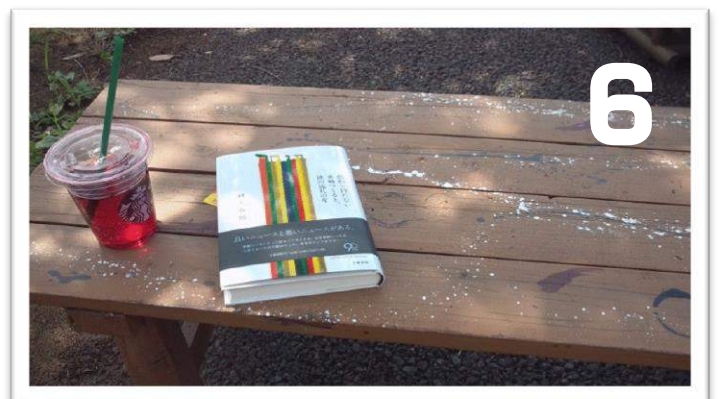


ガードラックで楽しむ アンティーク塗装

ガーデンテーブルやエクステリア小物を塗装でオシャレに演出してみませんか？



完成した作品は古びた雰囲気でも撥水性があり、植木鉢置きやスノコに最適です。
わざと塗料を飛び散らせると独特の風合いが出ます



アンティーク塗装って何？

「アンティーク塗装」とは、エイジング塗装またはシャビー塗装とも呼ばれ、塗装屋仕上げの工程でひと手間加えることで古びた風合いを出す塗装方法のことです。

違う色を塗り重ねたり、表面にわざと傷をつけたりして、新品でありながら長年使ってきたような風格を持たせ、落ち着いた雰囲気的生活空間を演出します。

長年使われている手法ですが、近年は女性を中心に静かなブームとなっています。

どうして「ガードラックアクア」なの？

ガードラックアクアは、1回塗りで仕上がるのに色づきがよく、違う色同士が並んだときにもコントラストが際立ちます。また、水性で乾きが早く、複数の色を塗り重ねるアンティーク塗装に適しています。

臭いが少なく扱いやすいのに、耐久性はバツグン！

どうやって塗ればできるの？

アンティーク塗装には「決まったやり方」はありません。

工夫1つで様々な仕上げができます。

今回は手間暇をかけた方法とポピュラーな方法をご紹介します。

1. 壁板 時間を惜しまずじっくり仕上げました（写真の壁板は、ブルーを下地色として使っています）

- ① 下塗りとして、下地色にホワイトを30%混ぜたものをハケで塗り、木目を浮き上がらせるために乾く前に布で拭き上げます。
- ② 30分ほど乾かしてから、ホワイトに下地色を3~5%混ぜたものをハケで塗ります。木目は気にしなくても大丈夫です。
- ③ 1~2時間乾かしてから、320~400番のサンドペーパーで木目が浮かぶまで全体的に研磨します。
- ④ 150~240番のサンドペーパーで、部分的にムラを出したり、傷をつけたりするために研磨します。屋外に置く作品の場合は、木地が出ない程度に研磨してください。

2. テーブル ポピュラーな方法で仕上げました（写真のテーブルは、マホガニーを下地色として使っています）

- ① 下地色をハケで塗り、1~2時間乾かします。
 - ② ホワイトに下地色を2~3%混ぜたものをハケで塗り、1~2時間乾かします。
 - ③ 150~240番のサンドペーパー、またはワイヤーブラシなどで表面を傷つけ、下地色を出します。
- ☆ 傷つけ方がポイントです。縁の部分などを、輪郭を出すように削ってください。

3~5の作品は2の応用で、**3のフラワーポット**は古くなった歯ブラシで上塗りして独特な風合いを、**4の鳥小屋**は60番ほどの粗いサンドペーパーやワイヤーブラシで研磨して傷がついた雰囲気を演出しました。

5のスノコは上塗りを2回に分けて塗装し、1回目の上塗りはホワイトを使ってわざと色ムラが出るように塗り、1~2時間乾かしてから下地色を20~30%混ぜたホワイトをハケで部分的に塗りました。容器の縁で余分な塗料を落としたハケを更に布でさっと拭くと、掠れた雰囲気を出すこともできます。

6の縁台は、下地色をハケで塗って1~2時間乾かしてから、わざと塗料を飛び散らせたり、底に塗料を